



日帰り旅行を楽しんできました！



今まで全事業所が水族館や動物園など一つの場所へ集まり、そこで合同で昼食を食べるなどの交流を図りながら、終日遊んで過ごす活動を「きらり大旅行」と銘打ち取り組んできましたが、「もっと一人ひとりの児童の興味や特性にスポットを当てて、より満足感を得ることのできる旅行を実現させたい！」という職員の思いから、事業所毎に企画・実行する「各ルーム日帰り旅行」を今年度よりスタートさせました。



朝の会や自由時間の場面を活用し、子どもたちの希望や意見もその都度聞き取りしながら慎重に行き先を検討した結果、百舌鳥ルームとウキウキルームは「京都鉄道博物館」、陵南ルームと中安井ルームは「東条湖おもちゃ王国」、錦織ルームは「万博記念公園とニフレル」にそれぞれ行き先が決まり、そのことを子どもたちに伝えると、「やったー！」「めっちゃ

楽しみ！」「ジェットコースターに乗りたい！」と、それぞれの事業所で歓声があがっていました。

最初に出発した錦織ルームでは、ニフレルで様々な動物を間近で見学することができ、「すごく大きい！」「カッコいい〜」と、特にホワイトタイガーに人気集中していました。

ニフレルの最後に家族や自分に向けてお土産を購入する時間を設け、その後は万博記念公園で時間の許す限り遊具や鬼ごっこをして遊んで過ごすなど、心身ともに発散して過ごすことができました。

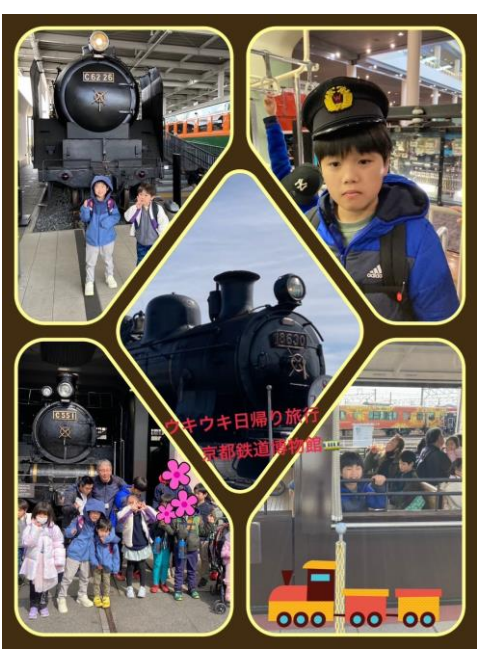


東条湖おもちゃ王国ではたくさんのアトラクションがあり、どれから乗ろうかみんな目移りしていましたが、「混みそうだから先にこれに乗った方が良いでしょう」「先に激しい乗り物に乗って、後から観覧車とかゆったりした乗り物に乗ろう」など、それぞれのグループで子どもたち自身が相談しあいながら行動を決めている姿が印象的で、みんなの成長を実感した場面でした。

2024年2月

京都鉄道博物館では迫力ある実物の蒸気機関車を見て、「すごいな〜」「大きいな〜」「早く中にも入ってみたい！」と子どもたちのわくわくする気持ちが溢れて止まりませんでした。

館内では実際に車両の運転席に乗車することができ、みんな気分はさながら「僕(私)は車掌さん！」といった様子でした。



肌寒い時期での決行ということもあり、子どもたちの体力面や体調等が心配でしたが、そんな寒さを吹き飛ばすほどの、子どもたちの笑顔とエネルギーに溢れた一日となりました。

「きらり大旅行」「各ルーム日帰り旅行」では、共に児童同士の交流を図ることを一番に、子どもたちができるような内容を企画、実行していきたいと考えているので、今後ともこうご期待ください。